

総務省統計局が「gacco」を活用した データサイエンス・オンライン講座の第3弾 「誰でも使える統計オープンデータ」を開講

株式会社ドコモ gacco（本社：東京都港区、代表取締役社長：伊能美和子、以下「ドコモ gacco」）が運営する大規模公開オンライン講座「gacco[®]（ガッコ）」において、総務省統計局（以下統計局）が、e-Stat（政府統計の総合窓口）などを用い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学習することができる無料講座「誰でも使える統計オープンデータ」を2017年6月6日（火）より開講いたします。受講募集は、2017年3月17日（金）14時30分より開始いたします。

我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速化させるためには、データに基づいて課題を解決する能力の高い人材、いわゆるデータサイエンスを身に付けた人材が不可欠となっています。

このような状況を踏まえ、統計局は、“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス入門」及び「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講し、延べ6万1千人を超える多くの方に受講いただきました。

今回、上記の講座に続く第3弾として、「誰でも使える統計オープンデータ」の講座を開講いたします。この講座は、“データサイエンス”力の向上を目指し、政府統計の総合窓口であるe-Stat（イースタット）、総務省及び（独）統計センターが提供する統計GIS（※1）、API機能（※2）等を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学ぶことができる内容となっています。

受講の方法は、本講座紹介用ウェブサイトを御覧ください。

ウェブサイト（ https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga084+2017_06/about ）

講座の詳細は、以下のとおりです。

■「誰でも使える統計オープンデータ」講座 概要



【講座名】誰でも使える統計オープンデータ

【内容】e-Stat（政府統計の総合窓口）、統計GIS、API機能を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

第1週：e-Statを使ったデータ分析

e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ（e-Statの機能紹介、活用事例紹介等）

第2週：公的統計データの使い方

公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ（公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等）

第3週：統計GISの活用

統計データと地図を組み合わせた統計GISの活用方法を学ぶ（jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等）

第4週：統計オープンデータの高度利用

統計API機能の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ（地方公共団体・ビジネスにおける活用事例、講座のまとめ等）

【講師】

西内啓氏（統計家）

小谷祐一郎氏（「GEEEO（※3）」開発者）

統計局及び（独）統計センター職員

【学習期間】

4週間程度（週3時間程度）

【受講申込先】

ウェブサイト（https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga084+2017_06/about）

※1 地図による小地域分析（jSTAT MAP）

※2 プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能

※3 「GEEEO（ジーオ）」は不動産販売価格予測サイト

*「gacco」は株式会社ドコモ gacco の登録商標です。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

◆株式会社ドコモ gacco 広報・マーケティング室

担当：岩瀬・草間

Tel：03-3456-1200

Email：marketing@gacco.co.jp